

日本語能力試験N1 「合格体験記」

～私のN1勉強方法～

中部学院大学短期大学部 社会福祉学科2年生

チャー シン リン ラッ

皆さんが知っている通り日本語能力試験でN1が一番難しいレベルです。私はN1を合格しましたが、一回で合格したわけではありません。一回目は99点であと一点足りず不合格になりました。それでも、諦めずに二回目にチャレンジしたら合格できました。だから、N1合格のためには日々の勉強も大事ですが、自分を信じることも大切です。

私がN1合格までに特に心がけたことがいくつかあります。まず、一番集中して勉強したのは文字語彙と文法です。私は「総まとめ」シリーズの教科書を使って、その中からの語彙や文法を、自分の母語に翻訳してノートに書くということをいつもしていました。そのノートを毎日、朝起きる時も寝る前も、バスや電車に乗る時も見て覚えました。それから、大事なものは模擬試験の練習問題です。教科書に載っていない言葉が練習問題に出たりもするので、私は図書館から模擬試験の本を何冊か借りて、解くようにもしました。そうすると、よく出る言葉のパターンなどに気づくことができます。また、問題を解いていて正解がわかるときでも選択肢の中にわからない言葉があれば、それもノートに書いて覚えるようにしました。文法も同じ方法で勉強しました。何回も問題を解けば、どんな文法がよく出るかもわかるようになります。

また、読解についてですが、本当は読解の教科書を使って勉強したほうがいいかもしれませんが、私の場合は、JLPTの前は学校の介護の勉強で忙しかったり、中間テストも受けなければならなかったので、N1の読解だけを集中して勉強するための時間があまりありませんでした。そのため、読解は普段使う介護の教科書に書いてある文章を何回も読んだり、速く読んでポイントをつかめるように練習を重ね勉強しました。そして、JLPTの一週間前になってから読解の練習問題に取り組み、時間内に解けるように練習しました。

それから、聴解もあまり練習する時間はありませんでしたが、今は日本に住んでいるので、毎日の生活で日本人と積極的にコミュニケーションを取るようにしたことが聴解をよくするのに効果がありました。ただ、N1の聴解は問題をちゃんと聞かないとポイントをつかむことが難しいので、試験中は聴く力だけではなく集中力を保つことも大事だと思います。

最後は、外国人の私達にとって一番難しい漢字の勉強ですね。N1の漢字の教科書はとても厚くて覚えるのが大変だと思います。私にとっても、全部を覚えようとするのはとても大変でした。また、漢字は模擬試験の問題に出てくるものを覚えても、実際の試験に同じ漢字が出ることは少ないと思います。だから、私は練習問題よりも介護の教科書でよく出る漢字や普段見る新聞やニュースによく出てくる漢字などをノートに書いて覚えるようにしました。漢字はそういうふうに毎日勉強すれば十分だと思います。

長くなりましたが、私のアドバイスが助けになればうれしいです。もちろん勉強は大事ですが、あまり無理はしないでください。時間がかかっても少しずつ勉強を続けていけばいつか必ず合格できます。皆さんが目標のレベルに合格できるように願っています。